

平成 29 年度大分市社会福祉協議会事業計画

1 基本方針

近年の社会経済環境や人々の意識の変化を背景に、人口構造、働き方、家族形態も大きく変化しており、その結果、地域という概念が希薄化し、地域でお互いが支えあう力、地域力の弱体化などが指摘されています。そのため、地域や世帯においてこれまでとは異なった複合的で複雑化した新たな福祉ニーズや生活課題が顕在化しています。

このため、現在、地域住民と地域で活動している多様な団体が協働し、地域の実情に応じて柔軟な発想で地域あるいは家族が抱える生活課題の解決を図っていく地域福祉活動がますます重要となっています。

大分市社会福祉協議会（以下「本会」という。）は、これまでも、地域福祉を推進する中核的団体として、地域住民の暮らしを守る個別支援と、地域につながりをつくる地域支援の両面から地域の生活課題の解決を図るべく、地域に密着した地域支援に取り組んできたところです。

平成 29 年度は、昨年度に引き続き、「第 3 期大分市地域福祉計画・第 4 次地域福祉活動計画」の基本理念の下、市民一人ひとり、住民組織、様々な関係団体、本会及び行政が一体となって、地域で住民がお互い支えあい、助け合うことで安心していきいきと生活できるまちづくりの実現を目指していきます。

そのため、地域住民との双方向のコミュニケーションを重視しながら、地域住民が地域でお互いつながり、支え合うことのできる仕組みづくりの推進を図るとともに、大規模災害発生後の復旧支援活動を担う災害ボランティアの育成、地域の生活困窮者などに対する自立に向けた支援や権利擁護に関する事業の更なる強化に取り組めます。

また、介護保険事業の実施に当たっては、本会が有する責務と当該事業の採算性とのバランスを考慮した状況に応じた効率的な経営判断の下、利用者の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、地域の福祉サービス水準の向上に努めます。

さらには、各種事業を戦略的、計画的に推進するに当たっては、法人全体を総合的にマネジメントする法人管理部門の強化を図る必要があります。各種会費などの自主財源の安定的な確保を初めとする財務体質の強化を図るとともに、組織の不断の見直しを行い、時代に即応できる組織体制を整備していきます。

2 事業展開の方針

平成 29 年度も昨年度に引き続き、地域の地域福祉活動を社協がどう計画的にかつ戦略的に推進、支援していくかという方向性を示した「第 4 次地域福祉活動計画」及び行政計画である「第 3 期大分市地域福祉計画」の平成 28 年度の進捗状況や評価等を踏まえ、選択と集中の視点で、次のとおり取り組みます。

(1) 地域のつながりをつくる

将来、地域福祉の担い手となっていく小、中学校生を対象に、福祉に関する関心や理解を知識面から、また直接体験を通して促し、自ら思いやる心で考え行動することができる意識や態度の醸成を目的に実施している「福祉教育・学習」活動の支援に取り組みます。

また、地域で暮らす多くの世代が地域活動に関心や意欲を持ち参加する意識を高めることができるよう地域情報の積極的な発信に取り組みます。

(2) 地域福祉の担い手をつくる

本会職員が積極的に地域に出向き、地域が抱える様々な課題を地域住民とともに把握、共有した上で、課題解決に向け地域のあらゆる世代、地域の関係機関などと緊密な連携を図りながら取り組むための校(地)区社会福祉協議会毎の活動計画の策定の支援や地域活動のリーダー的人材の養成に取り組みます。

ア 小地域福祉ネットワーク活動事業を活用した校(地)区社会福祉協議会支援の充実、強化

(3) 課題を深刻化させない

地域には単独の福祉制度では解決が難しく、また、どこに相談したらよいかわからない複雑化、多様化した福祉課題を抱えている人が多く、こうした課題解決に向けては、そうした人がいることに早く周囲が気づき、迅速に相談機関や専門機関に繋ぐなど、地域、社協、関係機関が相互に連携し対応することが必要です。

そのために、本会は、日頃から地域が地域の生活弱者を見守っていく地域福祉活動事業を支援するとともに、総合的相談窓口としての機能の充実、強化に取り組みます。

ア 自立相談支援事業の充実、強化

イ 障がい者生活支援事業の新体制の構築

(4) 安心・安全をつくる

大規模な災害発生時に地域、社協、ボランティア、行政、関係機関等が連携して迅速かつ的確な救援活動に取り組むためには、平時から地域や行政との連絡体制の整備などが極めて重要となります。

このため、災害時を想定した地域や行政との緊密な連携、災害ボランティアセンター運営スタッフ等の養成、災害に強いまちづくりへの取組を強化します。

また、判断能力や理解力が低下した人、障がい者、認知症高齢者などが地域で安心して生活できるよう支援するため、権利擁護事業の更なる強化に取り組みます。

ア 災害ボランティアセンター運営体制の整備

イ 権利擁護機能の強化

(5) 介護保険事業の経営安定化

本会の介護保険事業は、度重なる介護報酬の引き下げ等の影響で厳しい経営環境にあります。利用者増に向けた取組も実施するとともに、組織のスリム化等による経費節減を主体とした経営改善に努めてきました。

こうした経営努力により一定の成果は得られたところであり、平成 29 年度も引き続き徹底した事業のスクラップアンドビルドに努めるとともに、職員配置の見直しなどを行い、更なる増収策に取り組みます。

ただ、今後、設備の老朽化による大規模修繕も必要となる中、介護保険制度の今後の展望を考慮すれば、抜本的な経営改善に向けた検討も併せて行っていく必要があるものと考えているところです。

なお、介護保険事業の実施に当たっては、リスクマネジメントには最大限留意しながら、利用者のニーズに的確かつ効果的に対応するとともに、サービス提供を通して地域福祉の向上に貢献して参ります。

ア ホームヘルパーステーションさざんかの事業運営

イ 老人デイサービスセンターさざんかの人員配置等の見直し

ウ 介護保険サービスセンターさざんかの特定事業所加算

(6) 法人運営の基盤整備と強化

本会の事業内容は、介護保険事業など多岐にわたり、事業規模は拡大傾向にあることから、法人の管理・運営に当たっては、本会の今後の活動の在り方、方向性を見極めた上で事業全体を総合的にマネジメントする法人管理・運営部門の強化が必要です。

そのため、法人の人事、組織、財務、人材育成等に関して不断の見直しを行いながら、効果的、安定的な法人運営が可能となるよう財政基盤、組織基盤の整備に取り組みます。

ア 社協創立 50 周年を記念する取組

イ 自主財源の確保

ウ 「社会福祉充実計画」に基づく社協組織の基盤強化

エ 生活支援体制整備事業の推進

3 各部署の重点事項

(1) 総務課

	重点事項	具体的な取組	予算
ア	大分市社協設立 50 周年（平成 29 年 4 月 10 日）を記念する取組	法人設立 50 周年という節目にふさわしい行事や取組の実施	1,711 千円
イ	自主財源の確保	会費や寄附金の増加に向けた積極的な取組の実施	32,695 千円
ウ	「社会福祉充実計画」に基づく社協組織の基盤強化	社会福祉充実計画に基づくハード・ソフト両面からの組織の基盤強化	—
エ	生活支援体制整備事業の推進	市が設置する協議体と一体となった、生活支援・介護予防サービスの提供体制構築に向けた取組の推進	13,803 千円

(2) 地域福祉課

	重点事項	具体的な取組	予算
ア	小地域福祉ネットワーク活動事業を活用した校（地）区社会福祉協議会支援の充実強化	(1) 市社協の事業方針発信の場及び校（地）区社協活動の充実を目的とした、校（地）区社協連絡会議の開催 (2) 小地域福祉ネットワーク活動の推進役である地域福祉推進委員への研修会を通じた小地域活動者会議の開催支援 (3) モデル校区の校（地）区社協活動計画の策定支援	5,822 千円
イ	災害ボランティアセンター運営体制の整備	(1) 災害ボランティアセンター運営に必要な事前協議の継続実施及び職員のスキルアップを目的とした他機関主催研修会への参加 (2) 災害ボランティアセンター運営等に必要な人材の確保及び研修会等による育成の促進 (3) 災害時における円滑な災害ボランティアセンター運営のため、訓練等を通じた職員の初動態勢の検証	833 千円

(3) 生活支援課

	重点事項	具体的な取組	予算
ア	自立相談支援事業の充実強化	(1) 行政各課や関係専門機関等と連携した困りごとをキャッチしやすい体制づくりを通じた、相談並びにプラン作成による支援強化 (2) 中間的就労について、行政と協議・協働をすすめる、社会福祉法人や就労継続支援事業所等から認定就労訓練事業者の開拓の実施	41,962 千円
イ	権利擁護機能の強化	(1) 市民後見人養成講座の実施 (2) 養成講座受講者を対象にフォローアップ研修の実施 (3) 弁護士、行政、県社協等、専門職や関係機関との連携会議開催	701 千円
ウ	障がい者生活支援事業の新体制の構築	平成 30 年度開始予定の地域生活支援拠点等整備事業にむけての円滑な移行準備	25,300 千円

(4) 在宅福祉サービス課

	重点事項	具体的な取組	予算
ア	大分市ホームヘルパーステーションさざんかの事業運営	事業所の統合後 1 年が経過した中で、更なるスクラップアンドビルドを通じたコスト削減	—
イ	大分市老人デイサービスセンターさざんかの人員配置等の見直し	(1) 人員配置の見直しによる支出減 (2) 新しい総合事業に対応した利用定員の変更と適正な職員配置の実施	—
ウ	大分市介護保険サービスセンターさざんかの特定事業所加算算定	質の高いケアマネジメントの提供による、特定事業所加算の取得を目指し組織強化を図る	—